

災害対策業務表等

1 川西市の災害対策業務表

部	班	主な業務内容	現地対応	手当有無	金額(円)	単位	備考
各部	各班	再出動	無	有	500	日	出動手当として、帰宅後の再出動に限る手当
各部	庶務班	部局内の連絡調整	無	無	—	—	
市長公室	受付班	災害対策本部での受付	無	無	—	—	
企画財政部	受付班	災害対策本部での受付	無	無	—	—	
	財政班	災害に関する財政措置	無	無	—	—	
総務部	受付班	災害対策本部での受付	無	無	—	—	
	人事班	各部配置職員の把握等	無	無	—	—	
	車両班	車両の配備など	有	無	—	—	避難所への職員搬送や避難者搬送などで現場対応の可能性有
	調査班	被害建物等の調査	有	無	—	—	
市民環境部	物資班	救援物資の輸送	有	無	—	—	
	環境班	災害による公害及び愛玩動物収容対策	有	無	—	—	出動の事例無し、状況により出動手当の可能性有
美化衛生部	環境班	障害物の除去（道路等除く）、ゴミの収集	有	有	950	日	業務手当としてゴミ収集の項目有
	衛生班	感染症対策	有	有	250	回	危険手当に感染症の防疫の項目有
福祉部	援護班	要支援者の安否確認、避難支援など	有	無	—	—	
都市政策部 土木部	活動班	応急対策活動	有	有	300	回	出動手当として水火災の現場に30分以上出動し、防衛鎮圧に従事した手当（機関員は1当務につき200円の加算）
		パトロール	有	無	—	—	見回りのため現地作業とはしない
上下水道局	水道活動班	水道の応急対策活動	有	有	300	回	出動手当として水火災の現場に30分以上出動し、防衛鎮圧に従事した手当（機関員は1当務につき200円の加算）
	下水道活動班	下水道の応急対策活動	有	有	300	回	出動手当として水火災の現場に30分以上出動し、防衛鎮圧に従事した手当（機関員は1当務につき200円の加算）
	活動班	パトロール	有	無	—	—	見回りのため現地作業とはしない
消防本部	活動班	火水害の防御	有	有	300	回	出動手当として水火災の現場に30分以上出動し、防衛鎮圧に従事した手当（機関員は1当務につき200円の加算）
		救急業務	有	有	250	回	救急救命士（機関員は1当務につき200円の加算）
			有	有	130	回	その他の職員（機関員は1当務につき200円の加算）
教育委員会	地区対策班	避難所業務	有	無	—	—	

2 阪神各市の状況

市名	災害対策内容	単価（円）	支給単位	備考
尼崎市	避難所対応	1,000	日	日没時から日出時までの勤務手当500円、危険手当1,000円、深夜連絡調整手当500円など追加
西宮市	甚大災害時の応急対策	2,120	日	深夜の場合は3,180円/日を支給
	防災指令発令時の応急対策	1,700	日	深夜の場合は2,550円/日を支給
	防災指令時に上記2対策以外の業務	1,270	日	深夜の場合は1,910円/日を支給（避難所運営、自主避難者対応、避難所への物資搬送を含む）
	緊急呼出手当	420	日	深夜の場合は850円/回を支給（当市の再出動手当と同意、事前集合時を除く）
芦屋市	避難所対策（勤務時間外）	200	時間	深夜の場合は、300円/時間
	深夜に本部設置手当	1,000	日	深夜は午後10時から午前5時まで
伊丹市	再出動手当（勤務時間外）	1,000	日	
	災害対策業務従事手当	200	時間	避難所運営業務
	災害屋外危険作業手当	200	時間	
宝塚市	道路、避難所で災害対策業務従事手当	1,500	日	勤務時間内外にかかわらず、現場対策時間が4時間以上は1日、4時間未満は半日を支給。交通整理、避難所対応、罹災証明発行のための家屋調査等を対象とし、パトロールは除外。
三田市・猪名川町	避難所手当なし			

3 特殊勤務手当案及び追加費用試算（宝塚市を参考に、伊丹市及び芦屋市の時間単価と比較する。）

避難所、家屋被害調査、物資輸送等については、手当を新設し、1日4時間以上勤務1,500円、4時間未満750円
愛玩動物収容対策、避難支援等については、出動手当を準用し、1件300円（愛玩動物収容対策及び避難支援に一定の時間が必要のため）
試算の状況は、避難所を1日開設（担当職員半分勤務）、物資班配送1日、家屋被害調査20件、避難支援2班4名10件を実施した場合。

	人数	単価（円）	日(回)数	金額
避難所担当職員	63	1,500	1	94,500
物資班配送	2	1,500	1	3,000
家屋被害調査	4	1,500	1	6,000
避難支援	4	300	5	6,000
合計				109,500

※ 避難所の開設日数によって、費用が増加します。
※ 伊丹市、芦屋市の単価では、8時間1,600円、4時間800円となる。

4 過去の災害対策に係る費用（参考）

年度	災害名	再出動手当	出動手当	時間外手当	合計	手当対象職員
平成30年度	7月豪雨5～8日	289,000	185,100	27,149,720	27,623,820	609 避難所最大28カ所_約3日と3時間開設（避難勧告発令）
	7月28～29日台風12号	43,000	7,800	690,891	741,691	99 避難所10カ所_約16時間開設（自主避難者受け入れ）
	8月23～24日台風20号	34,000	26,400	4,621,158	4,681,558	230 避難所27カ所_約1日開設（避難勧告発令）
	9月4日台風21号	47,000	79,200	2,015,159	2,141,359	315 避難所11カ所_約1日と3時間開設（避難準備・高齢者等避難開始発令）
	9月7～10日秋雨前線	197,500	50,700	7,225,583	7,473,783	311 避難所10カ所_14時間と19時間の2回開設（避難勧告発令）
	9月30日～10月1日台風24号	92,000	18,600	3,437,130	3,547,730	129 避難所11カ所_約22時間開設（避難準備・高齢者等避難開始発令）
	合計	702,500	367,800	45,139,641	46,209,941	1,693
令和5年度	5月7～8日豪雨	21,000	3,300	283,419	307,719	43
	6月2日豪雨	40,000	13,500	291,848	345,348	81 避難所18カ所_約5時間開設（高齢者等避難発令）
	8月14～15日台風	76,500	29,100	1,127,041	1,232,641	155 避難所18カ所_約11時間開設（自主避難受け入れ）
	合計	137,500	45,900	1,702,308	1,885,708	279